

あっか隊新聞



本多
紗智



前田
美沙



西野
明花



篠田
大樹



片山
素晴

Vol. 85

2020年5月28日

編集者：西野 明花

四月の活動、茶摘み

（文・篠田 大樹）

刻々天龍村 皐月だより

（文・本多紗智）

四月の主な活動は野菜の苗づくり、苗の定植、ていざなす用の圃場の土作り等を行いました。

また、五月六日から羽田野さんの茶畠の茶摘みが始まり、七日には新茶をいたくことが出来ました。毎年飲んでいる方達も今年のお茶は美味しいとおっしゃっていたのでよかったです。無事茶摘みを終えることが出来き、お茶摘みをしてくださった方々、関わつてくれた方々に感謝したいです。また今回友人も摘みに来てくれましたが、これから茶摘みの輪が拡がれば嬉しいです。今後また、整枝作業や草刈り作業が続きますがまた来年美味しいお茶ができるように頑張りたいです。

この新聞を書いている前日、今季初のお茶摘み作業をしてきました。去年や一昨年よりも涼しめの気候に恵まれ、作業の感覚をズンがやつてきました。あらゆる種類の緑色が目に飛び込んでくるこの季節は、いつも増して空気が澄んでいるような感覚に襲われます。

村民のみなさま、こんにちは。天龍村に来て三度目のお茶シーズンがやつてきました。あらゆる種類の緑色が目に飛び込んでくるこの季節は、いつも増して空気が澄んでいるような感覚に襲われます。

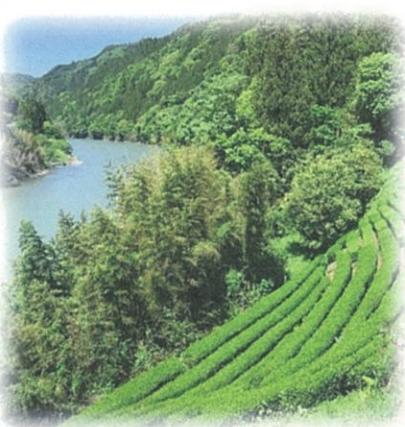
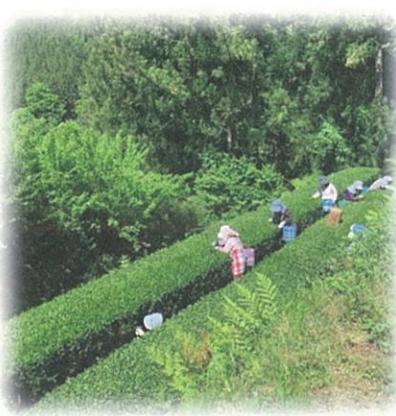
ちょうど役場のドローンが中井侍地区を撮影をしている様子に遭遇し、後から空撮映像を見たのですが、やはりこの茶畠の景観には圧倒されます。「私たちが美しいと感じる田舎の風景には、必ず人の手が入っている」という言葉が浮かんでくるようです。

ただ「綺麗な景色だなあ」で通り過ぎてしまうような、田んぼ・畑・森林などの風景の裏側にある人々の労働に想像を巡らせてみると、「働くってなんだろう?」という素朴かつ永遠の疑問に対する、根本的な答えが浮かんでくる氣がしてなりません。

また、作成中の季刊広報誌ですが、不特定多数への情報発信ではなく、村の日常的な風景をもつと知りたいと思つてくれている方に見てもらうには?と考えた結果、ひとまずはふるさと納税をされている方への送付物と同様させていただきました。

信州一早い桜の開花からお茶摘みまでを一区切りとした「春号」は、六月半ばまでの刷り上がり予定です。最近は編集作業をしている最中に、情報発信の在り方について考へることがとても多くなつてきました。

オンラインで誰でも簡単に情報発信ができる現代ですが、ひとつひとつが記憶に留まる時間が低下していると感じます。広報誌や書きがたりは、作り手の気持ちが伝わるよう心がけながら、長く手元に残るような完成形を想像しつつ作業をしています。



中井侍駅下の茶畠

早速いただいた新茶

と

じ

し

ろ

まえだの天龍山

暮らしへ入門～

文・前田美沙



只今、中井侍製茶工場に勤務中！
詳細は来月号にて書かせていただきます。

達成感はあります。しかし、ようやくスタートラインに立ったところだと思います。今後は残りのお家へあいさつ回りに行かせていただき、6月中旬頃からご注文があれば配達に行きます。配達が無くとも、見守りを兼ねてお家へ行かせていただく事もあると思いますので、その際はよろしくお願ひいたします。

このチラシをきっかけに、村内商店へ足を運ぶ方が増えたらいなとも思います。

配達業は素人の私たちではありますが、初めてだからこそ変化に対応できる柔軟さがあるかなと思います。これがあつてよかつたと言つたら、お気軽にお声がけください。トライ＆エラーをしながら良い形にしていきたいです。

チラシ作成では、商店から取り扱っている商品をお伺いし、足りない商品はお願いをし、入力から確認、地元商品の写真撮影すべてを手作業で行い、村民の方に利用しやすいように仕組みを考え、なんとかチラシ作成まで終えることができました。

～買物ご用聞きの舞台裏の物語～

BACKSTAGE

4月から「ご用聞き事業」が始まり、あいさつ回り・チラシ作成を行つていたら、あつという間に2ヶ月が経過しました。

あいさつ回りでは、皆さんのがいきいきしている姿や作業の姿から、「私たちも頑張らなくては」と元気とやる気を頂いています。そして、村の勇壮な景色に癒されています。

新緑の季節。そして草刈りの季節。天龍農林業公社では、ゴルデンウィーク前のサニーレタス収穫・ズッキーニ定植の熱冷めやらぬうちに、各圃場で草刈りが始まります。これからズッキーニ・ネギ・パプリカ・お茶・ゆず・水稻・いりいりなど、いろいろ手がかかるかもしれません。前日の気持ちの切り替えみたいなものでしょ？

また草刈りなどの状況をますので、Facebookで投稿していく検索してみてください。「天龍農林業公社」といりいぱぱづなすなど、いろいろ手がかかるなだす前の気持ちの切り替えみたいになります。

(文・片山 素晴)

